

授業支援・連想モデル(中学校版)の利用目的と操作方法

<目的>

授業支援・連想モデルは、中学校理科の任意の単元において、直観的に思いつく学習目標や内容を自由に記述することにより、関連する内容が単語で表示されるシステムです。その関連する内容を参考にすることにより、その学習において必要とする内容や予め学習しておく内容、次に続く内容などを確認でき、授業設計に役立てることができます。

<操作方法>

- ①プルダウンにより単元を選択します。
- ②学習目標や内容を「記入」の枠に入力します。学習指導要領に書かれているようなきちっとしたものではなく、直観的な表現でかまいません。
- ③決定をクリックします。
- ④記入した内容の単語が「記入内容」に表示されます。また、関連する内容が「関連内容」に表示されます。「関連内容」を授業設計の参考にしてください。
- ⑤表示される単語が多すぎる場合「レンジ」をよりマイナスのほうに、逆に少ない場合はよりプラスのほうにリストボタンを選択して、もう一度「決定」をクリックしてください。何も表示されていない初期の状態のレンジは「0」です。
- ⑥「記入」枠の内容を書き直して、「決定」をクリックすることにより、何度でも実行することができます。

The screenshot displays the MAMM (Middle School Edition) interface. At the top, the title "授業支援・連想モデル MAMM (中学校)" is shown. A dropdown menu is set to "2年:化学変化と原子・分子". Below this, the "記入:学習の目標や内容" (Input: Learning Objectives and Content) field contains the text "水の電気分解で発生する気体を理解する". A "決定" (Decision) button is present. The "記入内容" (Input Content) field shows the input text. The "関連内容" (Related Content) field displays "できること物質 酸素 水素". To the right, a "レンジ" (Range) column shows radio buttons for values from +4 to -4, with "0" selected. A list of units is shown in a dropdown menu, with "2年:化学変化と原子・分子" selected. Callout boxes provide instructions for each step: ①プルダウンにより単元を選択 (Select unit by dropdown), ②学習目標や内容を直観的に記入 (Input learning objectives and content intuitively), ③クリック (Click), ④関連内容の参照 (Reference related content), and ⑤必要に応じてレンジを変更 (Change range as needed).